

FUJI OIL REPORT 2016



第88期 中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

 不二製油グループ本社株式会社

証券コード：2607

グローバル基準で生き残れる 食の未来創造カンパニーを目指して

2015年10月1日 グループ本社制へ移行

後発の製油会社として1950年に創業した当社は、他社に追随しない新分野を開拓する独自性・技術力によって企業としての発展を続けてまいりました。そして創業65年を迎えた今年、国内市場の成熟・縮小、グローバル

競争激化などの環境変化に迅速に対応しながら生き残り、更なる持続的成長を目指すべく、2015年10月1日をもちまして持株会社体制に移行、商号を「不二製油グループ本社株式会社」に変更いたしました。

日本国内の事業は、新設いたしました「不二製油株式会社」へ包括承継し、アジア・中国・米州・欧州の各グループ会社も、エリアごとに事業を統括する会社を設けて、権限委譲を推し進めます。これにより経営と執行を分離し、各地域のニーズに合致した商品・サービスの創造力を高めながら、経営スピードを向上してまいります。

「コスト・スピード・現地化」をキーワードに グローバル経営を推進

不二製油グループ本社の役割は、グループ全体を世界基準で評価し、進むべき方向を定め、各グループ会社の価値創出活動を支えることです。全社のガバナンスを統制し、ヒト・モノ・カネの資源配分を決める戦略を練り、グローバルな人材づくりを推進するとともに、現地現場へのスムーズな権限委譲を図ってまいります。そして、既存事業の延長にとどまらない社会に貢献する新しい事業の柱をつくるのも重要な役割です。

また、グループ各社の役割は、それぞれの事業の進化・発展、利益創造にあります。これらを推進する上で重要なキーワードが、「コスト・スピード・現地化」の3つです。

激しく変化する世界市場のニーズに、迅速かつ適切なタイミングで、価値ある商品・サービスを提供するためのスピード。地域ごとに異なる経済状況の中、限られた資源

の中で商品・サービスの価値の最大化を図りながら、適正な利益を創出するコスト対応力。現地現場へ委譲された権限を最大限活用することにより、地域ごとの迅速かつ適切な意思決定と行動が求められます。

そして、3つのキーワードを支えるのが、グローバル人材の育成です。アジアだけを見ても、シンガポール・タイ・マレーシア・インドでは言葉も食文化も異なり、それぞれの長い歴史があります。このように多様な風土・文化・言語を背景にもつ世界の人びとに寄り添い、円滑にニーズを掴むコミュニケーション能力といった、ダイバーシティ(多様性)に適應する人材づくりが、グローバルな戦略優位を確立するには必要不可欠です。すでに当社グループ社員の半数以上が外国籍の人材ですが、改めて我々のミッションや、ビジョン、行動規範を共有するため、新たに「不二製油グループ憲法」を定めました。

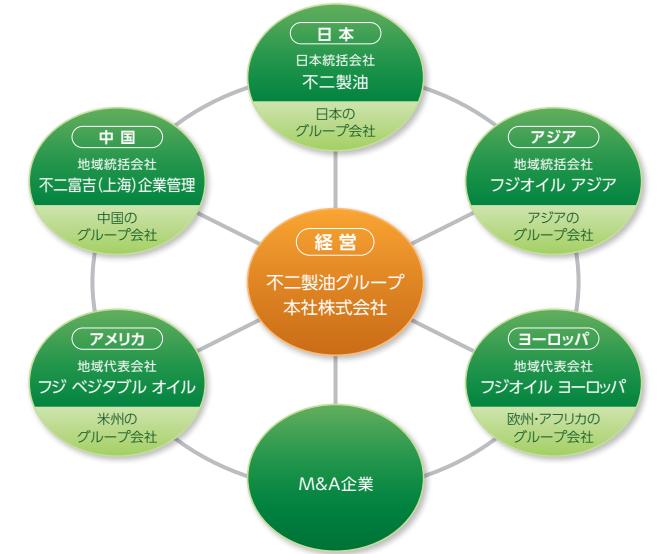
不二製油グループの未来を創り、 世界の多様な食文化に貢献する

2050年の国内市場は、少子高齢化の影響により、現在の国内市場と比較して、約3/4の規模に縮小すると見込まれています。一方、世界の人口は、2050年に95億人に達するものと予想されています。また、地球レベルでの環境、資源の問題がますます憂慮される状況となっているなど、私たち人類を取り巻く世界は、今後も大きく変化し続けることは間違いありません。

このような中、新生不二製油グループが誕生したことは、中長期ビジョンとして示した2030年の「ありたい姿」、2020年の「あるべき姿」を実現するための取り組みとして位置づけられます。

引き続き今後も、安全・安心でおいしい食を提供するグローバル企業として、世界の国・地域の環境や社会と

グループ本社制移行後の 不二製油グループ概念図 (2015.10.1~)



の調和を重視した社会的責任を果たすとともに、ESG(環境・社会・企業統治)の概念を踏まえた上で、持続的な成長を図り、世界のグローバル市場で究極のサステナブル経営を目指してまいります。

また、この度のグループ本社制への移行は、不二製油グループの未来を創るだけでなく、世界の人びとの健康と多様な食文化にも貢献するものであると確信しております。「食」を通して「おいしさと健康」で社会に貢献するという創業時の理念を大切に、世界中の皆さまに「食の喜び」をお届けできる企業であり続けたいと思います。

株主様をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
清水 洋史

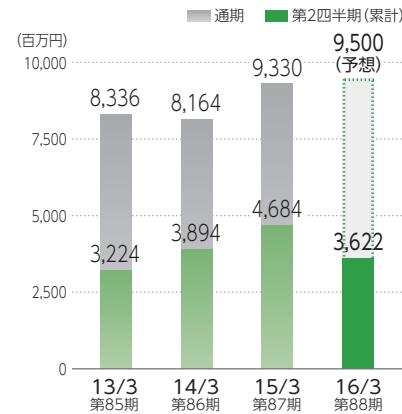
売上高



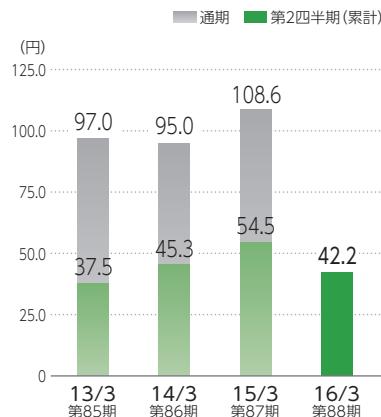
経常利益



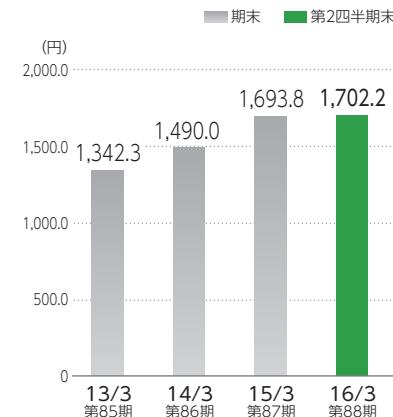
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



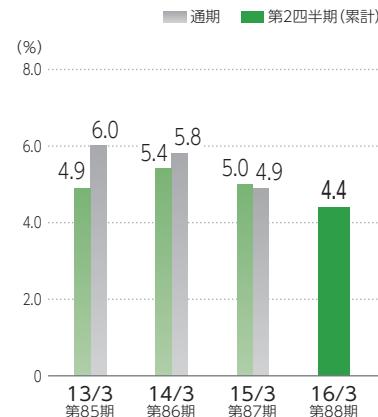
1株当たり四半期(当期)
純利益



1株当たり純資産額

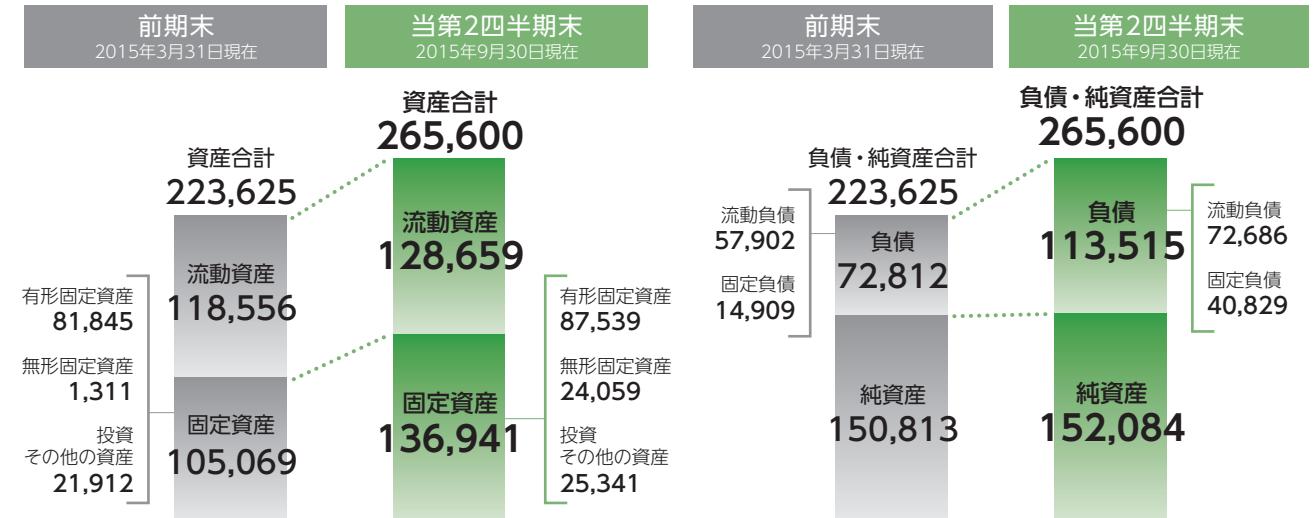


売上高経常利益率

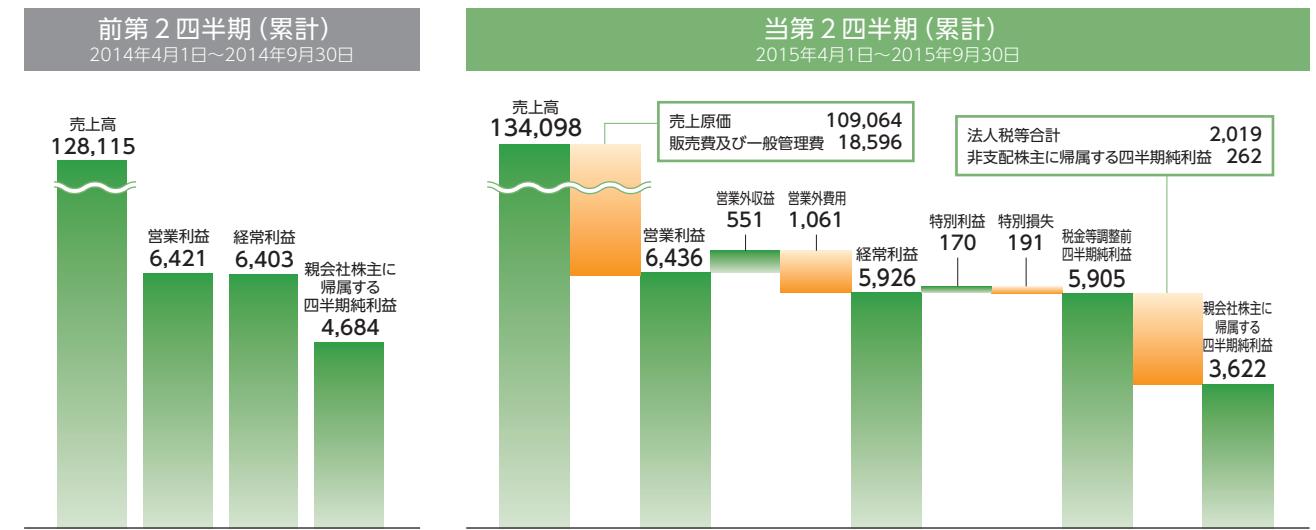


(注)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としてあり、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



四半期連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



(注)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてあり、前連結会計年度についても科目名を統一しております。

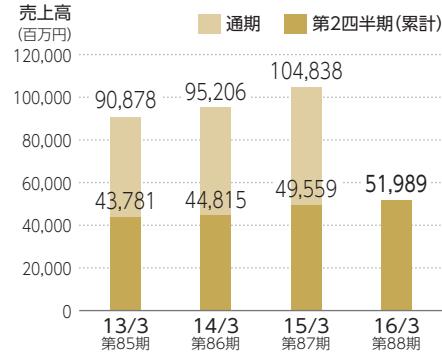
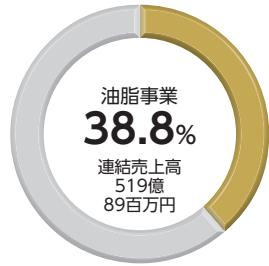
売上高構成比

売上高の推移

取扱商品

業績の概要

油脂事業



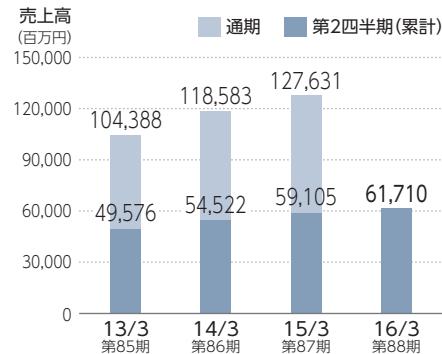
- ◆ 油脂
- チョコレート用油脂
 - 製菓用油脂
 - 冷菓用油脂
 - フライ用油脂
 - クリーム用油脂
 - 乳化油脂、粉末油脂、潤滑・離型油



売上高 4.9%増

- 国内 国内では、フライ油・製菓用油脂などのヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量は堅調に推移しましたが、利益面では販売価格の低下や経費増加等により、減益となりました。
- 海外 海外では、原料相場下落に伴い販売価格が低下する面はありましたが、主に米州で販売が伸長したことや、円安による円換算額の増加も寄与し、増収となりました。利益面では欧州での減益等により、海外全体では減益となりました。

製菓・製パン素材事業



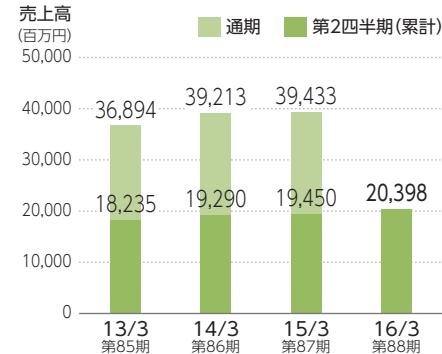
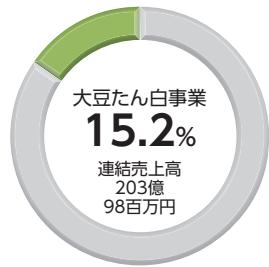
- ◆ チョコレート
- カラーチョコレート
 - 製パン用チョコレート
 - アイスチョコレート
 - コーティング
- ◆ 乳化・発酵食品
- クリーム
 - マーガリン
 - フィリング・チーズ素材
- ◆ 食品素材輸入
- 粉乳調製品
 - 冷凍生地
 - 調理用素材



売上高 4.4%増

- 国内 国内では、チョコレートは、主にスイートチョコレート類が伸長したことにより増収となりました。クリーム・調製品は減収、マーガリン・ショートニング・フィリング類は増収となり、国内の当部門売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の上昇の中、販売の伸長および販売価格改定の効果により、増益となりました。
- 海外 海外では、チョコレート・クリーム・マーガリン・フィリング類は、順調に伸長し増収となりました。利益面では、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得関連費用の計上を行ったことによる経費増加があり、減益となりました。

大豆たん白事業



- ◆ 大豆たん白素材
- 粉末状大豆たん白
 - 粒状大豆たん白
- ◆ 大豆たん白機能剤
- 水溶性大豆多糖類
 - 大豆ペプチド
- ◆ 大豆たん白食品
- 豆乳



売上高 4.9%増

- 大豆たん白素材は、食肉・水産向けが減少しましたが、健康食品・惣菜・加工食品向けで伸長し増収となりました。
- 大豆たん白機能剤は、飲料用途が伸長し増収となりました。
- 大豆たん白食品は、即席麺・給食・水産市場向けが減収となりました。
- 豆乳は、豆乳飲料など順調に推移し増収となりました。
- これにより当部門全体は増収となりました。利益面では、販売の伸長による利益増加や経費削減等により、増益となりました。

地域別売上高

日本



アジア



欧米



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注)前連結会計年度において報告セグメントの区分変更を行っており、第86期以降の数値については、変更後の数値となっております。

ミラノ万博記念 日・伊食文化交流プロジェクト記者発表会を開催 特別ゲストの女優 杏さんが列席の中、社長の清水が代表挨拶

2015年5月より10月末日までイタリア・ミラノで開催されたミラノ国際博覧会を記念し、東京の在日イタリア大使館にて、両国の食文化交流促進を目的としたプロジェクト“地球と人にやさしい食「大豆ルネサンス」”の記者発表会が開催されました。

挨拶に立った当社清水社長は、当社の新しい大豆の分離分画技術USS (Ultra Soy Separation) 製法を紹介し、「不二製油は創業以来、大豆を研究しており、将来世界の人々に健康とおいしさで貢献することになる、との思いで続けてきた。」と大豆の将来性と社会貢献への信念を語りました。

また、レセプション(試食会)では、イタリア大使夫人リータ・マンネッラ・ジョルジ氏や日本料理の巨匠 菊乃井 村田吉弘氏をはじめ、イタリア料理の巨匠 イル ギオットーネ 笹島保弘氏が、日伊の料理を披露し、大いに盛り上がりました。さらに、特別ゲストの女優の杏さんからは、食と健康へのこだわりや、ご自身の大豆を使った料理、大豆食の価値について、エピソードを交えてお話しいただきました。



▲(左から)当社清水社長、イタリア大使 ジョルジご夫妻、女優の杏さん、菊乃井 村田吉弘氏、イル ギオットーネ 笹島保弘氏



▲ 菊乃井 村田吉弘氏
「TO-FU ケーキ」



▲ イル ギオットーネ 笹島保弘氏
「きな粉のソイティラミス」

日本食品化学学会 第21回総会・学術大会 若手優秀発表賞を受賞 大豆ペプチド摂取による脳機能保護効果の作用機序を解明

2015年5月20日～22日に開催された日本食品化学学会 第21回総会・学術大会において、当社は、信州大学 片山茂准教授らとの共同研究「大豆ペプチドの神経保護効果とその作用機序解明」を発表し、若手優秀発表賞(口頭発表部門 発表者:片山茂准教授)を受賞しました。

大豆ペプチドとは、当社独自の酵素分解技術により大豆たん白を分解したもので、脳機能の改善に役立つことが近年の研究で明らかになってきています。今回受賞した研究発表は、老化に伴う認知機能の低下抑制において大豆ペプチドの効果が確認された研究(日本農芸化学学会2014年大会 トピックス賞受賞)に続き、その作用機序の一端を明らかにしたという内容です。国内の認知症患者数は、2012年時点で約462万人(65歳以上の7人に1人)、2030年には約830万人になると推計されています*。健康上問題がなく日常生活を送ることができる状態を示す健康寿命の延伸に、大豆ペプチドの貢献が期待されます。

*「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」より (平成26年度厚生科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)



▲ 授与された表彰状

小学生対象の食育プロジェクトを開始



▲ カードを使った献立作り

不二製油グループは、食育をCSR活動の一環としてとらえ、特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクールと連携し、小学生を対象とした食育プロジェクトを開始しています。当プロジェクトは、食育を通して、次世代を担う子どもたちに、身近な食が健康や食資源などの環境問題と繋がっていることを知ってもらい、食の大切さや健康・環境について考えるきっかけを作ることを目指しています。

初年度となる2015年度は、当社の従業員が講師として出向き、大豆をテーマとした、献立作りとおやつ作りの2種類のプログラムを授業で展開しています。将来的には、大豆だけでなく油脂やカカオをテーマにしたプログラムも展開していきたいと考えています。

実際の活動の様子や、食育プロジェクトについての詳細は、以下のURLにてご覧いただけます。
<http://npofafterschool.org/shokuiku/>

フジオイル(シンガポール)が、食品安全優秀賞のプラチナ賞を受賞

不二製油グループのフジオイル(シンガポール)が、シンガポール農食品獣医庁(AVA*)による「食品安全優秀賞(Food Safety Excellence Awards)」のプラチナ賞を受賞しました。プラチナ賞はAVAから20年連続で高度な食品衛生・安全性の「Aグレード」が認可されている企業に贈られ、今回は25社が受賞しました(「Aグレード」が15年連続の企業には金賞、10年連続は銀賞、5年連続は銅賞が贈られる)。フジオイル(シンガポール)は食品衛生、安全に20年以上継続して取り組んだ結果が評価されました。

*AVA: Agri-Food & Veterinary Authority of Singaporeの略。国家開発省の中にある組織で、日本でいう農林水産省と厚生労働省のはたらきに近い。



◀ 国家開発省・国防省大臣より表彰状と楯が授与された

農林水産省・ASEAN事務局共同寄付講座の特別セミナー、 アジアR&Dセンターにて開催



▲ 参加された学生の方々とともに記念撮影

2015年7月31日に、当社グループのフジオイル アジアのアジアR&Dセンターにて、農林水産省・ASEAN事務局共同寄付講座の特別セミナーを開催。シンガポール国立大学 食品科学技術系の学生23名と7名の教員が参加しました。当日は、農林水産省食料産業局岩瀬次長による日本の食産業についての講義などとともに、フジオイル アジアでは、主要製品「スペシャリティファット」の原料となるパーム油やパーム核油の性質や製造工程、製菓・製パン用素材に最適なスペシャリティファットを生み出す技術などをご紹介しました。また、施設見学や製品の試食も実施。質疑応答も活発に行われ、参加された学生の方々の関心の高い様子がうかがえました。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 357,324,000株
 株主数 18,024名
 発行済株式の総数 87,569,383株
 一人当たり平均所有株式数 4,858株

大株主 (2015年9月30日現在)

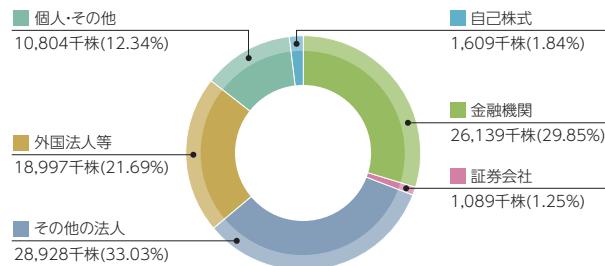
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	20,983	24.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,516	4.09
全国共済農業協同組合連合会	2,639	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,624	3.05
株式会社三井住友銀行	1,875	2.18
農林中央金庫	1,825	2.12
東京海上日動火災保険株式会社	1,758	2.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・三井住友信託退給口	1,739	2.02
日本生命保険相互会社	1,600	1.86
不二製油取引先持株会	1,437	1.67

持株比率は自己株式(1,609千株)を控除して計算しております。

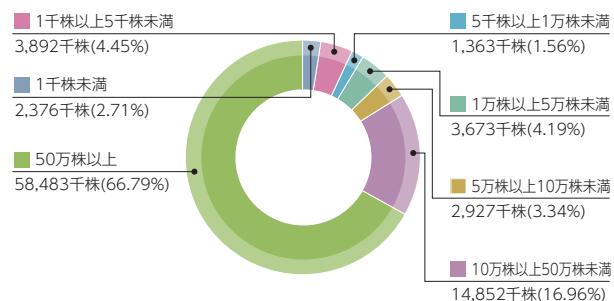
株価の推移



所有者別株式分布状況 (2015年9月30日現在)



所有株数別株式分布状況 (2015年9月30日現在)



会社概要 (2015年10月1日現在)

創立 1950年(昭和25年)10月
 資本金 13,208百万円
 全グループ従業員数 5,128名
 不二製油従業員数 1,154名
 不二製油グループ本社従業員数 49名

役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役専務執行役員	久野貢
取締役専務執行役員	吉田友行
取締役常務執行役員	前田裕一
取締役常務執行役員	小林誠
取締役常務執行役員	木本実
取締役執行役員	酒井幹夫
取締役執行役員	松本智樹
社外取締役	三品和広
社外取締役	田路則子
常勤監査役	岩朝央
常勤監査役	古城茂穂
社外監査役	松本稔
社外監査役	江名昌彦

連結上期業績概要 (2015年9月30日現在)

連結売上高 134,098 百万円
 連結経常利益 5,926 百万円
 連結総資産 265,600 百万円

主要海外グループ会社 (2015年9月30日現在)

フジオイル ヨーロッパ^{※1}
 フジ ベジタブル オイル^{※1}
 フジオイル アジア^{※2}
 不二富吉(上海)企業管理有限公司^{※2}
 インターナショナル オイルズ アンド ファッツ
 フジオイル サウスアメリカ
 ハラルド
 フジオイル(シンガポール)
 ウッドランド サニーフーズ
 パルマジュ エディブル オイル
 ニューレイト エディブル オイル
 フジオイル フィリピン
 フレイアバディ インドタマ
 ムシム マス-フジ
 フジオイル(タイランド)
 3F フジフーズ
 不二製油(張家港)有限公司
 吉林不二蛋白有限公司
 山東龍藤不二食品有限公司
 上海旭洋綠色食品有限公司
 天津不二蛋白有限公司
 不二富吉(北京)科技有限公司

主要国内グループ会社 (2015年9月30日現在)

不二製油 株式会社^{※2}
 トーラク 株式会社
 フジフレッシュフーズ 株式会社
 株式会社 フジサニーフーズ
 株式会社 エフアンドエフ
 オーム乳業 株式会社
 株式会社 阪南タンクターミナル
 千葉ペグオイルタンクターミナル 株式会社

※1 地域代表会社
 ※2 地域統括会社

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月開催		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
公告掲載新聞	日本経済新聞		
上場証券取引所	東京		
証券コード	2607		

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力を願います。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **2607**



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させ
ていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ
[e-株主リサーチ事務局]

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

株式に関するお手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社	
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等	
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。	

特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
〈電話照会先〉	0120-782-031	
〈ホームページ〉	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
お手続き内容	特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等	
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。	

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は三井住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に記録されております。

特別口座の詳細につきましては、上記三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。